

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
1202	仏教思想史 <History of Buddhist Thoughts>			講義
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
インド文学	谷口 富士夫(TANIGUCHI Fujio)		後期	水曜：2限
講義題目 Title	チベット語文法			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	<p>1. サンスクリット語の初級文法の知識があることを履修条件とする。</p> <p>2. この授業では主にサンスクリット語仏典のチベット語訳を読めるようになることを目標とし、余裕があればチベット人撰述の文献を読むのに必要な文法も学習するが、原則として現代口語については扱わない。</p>			
授業の目的 Purpose	<p>チベット語文法を学習することによって、基本的なチベット語仏教文献について、チベット文字を識別したうえでラサ方言に近い発音で読むことができるようにするとともに、辞書を引いて意味が理解できるまでの能力を身につける。そうすることによって、古代インド文化の影響を大きく受け、元朝および清朝の中国に大きな影響を与えてきたチベットの思想・宗教を理解する基礎を築く。</p> <p>The aim of this course is to help students acquire the necessary knowledge needed to read Buddhist literature written in Tibetan language.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>古代インド思想で用いられるサンスクリットとは全く語族の異なるチベット語を用いて、チベット人は主要なインド大乘文献を逐語訳に近い形で網羅的に翻訳し、特に重要な文献については自ら註釈書を著した。この授業では、註釈文献などで用いられるチベット語についても関説しながらサンスクリットの翻訳語としてのチベット語に重点を置いて文法を概説し、最後にサンスクリット本と対照させながらチベット語訳『般若心経』を通読する。</p> <p>第1回：「チベット」の範囲、チベット語の特徴 第2回：チベット文字の転写法、文字の組み合わせと発音（基字、添足字） 第3回：文字の組み合わせと発音（添頭字、添前字、添後字、再添後字） 第4回：辞書の引き方 第5回：名詞と数詞 第6回：格助辞の用法（1）属格 第7回：格助辞の用法（2）具格 第8回：動詞の用法（1）自動詞と他動詞 第9回：動詞の用法（2）いわゆる時制、否定辞の用法（maとmi） 第10回：格助辞の用法（3）従格 第11回：格助辞の用法（4）la義の一般的用法 第12回：格助辞の用法（5）la義の個別的用法 第13回：チベット仏教略史 第14回：チベット語訳『般若心経』講読（1）前半 第15回：チベット語訳『般若心経』講読（2）後半</p>			
教科書 テキスト Textbooks	ツルティム・ケサン&小谷信千代『改訂版 実践チベット語文法』文栄堂（入手不可能になっている場合には、授業中に他のテキストを指定する。）			

<p>参考書 References</p>	<p>【チベット語に関するもの】 H.A.Jaschke, "Tibetan-English Dictionary" (日本の臨川書店からも縮小版が出版されているが、海外のペーパーバック版が安価で、通信販売でも手に入れやすい。) 『蔵漢大辞典』北京民族出版社 山口瑞鳳『概説チベット語文語文典』春秋社</p> <p>【チベット文化に関するもの】 山口瑞鳳『チベット』(上下)東京大学出版会 ツルティム・ケサン&正木晃『チベット密教』ちくま新書</p>
<p>受講生の 自宅学習 Preparation and review</p>	<p>テキストの例文のチベット文字をローマ字表記に直したり、逆にローマ字表記されているチベット語をチベット文字(有頭体)に直す。 テキストの例文をラサ方言で発音できるようにする。 テキストの例文に出てくる単語の意味を辞書で調べ、文法構造を考える。</p>
<p>成績評価の 方法と基準 Evaluation</p>	<p>期末レポート60%、平常点(授業への積極的参加の度合い)40%</p>
<p>連絡方法 Contact information</p>	<p>メール(アドレスは授業において示す)</p>